

## お客様 各位

平成21年11月27日  
岡部株式会社  
旭化成建材株式会社

### ベースパックのアンカーボルトの伸び能力について

『2007年度 建築物の構造関係技術基準解説書（黄色本）』によると、伸び能力のあるアンカーボルトとは、「軸部の全断面降伏までネジ部が破断しないような性能のもの」とあります。

具体的には以下の記載内容です。

- ①切削ネジ（並目） : 素材の降伏比 0.7 程度以下
- ②切削ネジ（細目） : 素材の降伏比 0.75 程度以下
- ③転造ネジ : 素材の降伏比 0.75 程度以下
- ④ネジ部の有効断面積が軸部と同等以上

但し、上記規定を満足していても、アンカーボルト長さが短いと絶対伸びが小さくなるため、個別の検討や実験等で確認が必要。

ベースパックのアンカーボルトの規格は以下の通りです。

- 異形鉄筋Mネジ : 転造ネジ 降伏比 0.75 以下
- ネジ鉄筋 : ネジ部と軸部の断面積が同一
- ハイテンアンカー : 転造ネジ 降伏比 0.75 以下

したがって、ベースパックのアンカーボルトは「2007年度 建築物の構造関係技術基準解説書」の規定を満足しており、伸び能力のあるアンカーボルトと言えます。

また、柱脚実大実験などによって、十分な伸び能力が確保できていることを確認しております。

以上